



志村坂下小だより

12月号 令和6年11月29日

東京都板橋区立志村坂下小学校

「FLC学びのエリア」(fight・learn・clean) 志四中「坂下小」緑小「志村小」北前野小

校長 松野 薫子

目指す児童・生徒像＝「よく考え進んで学ぶ子ども」「心豊かで思いやりのある子ども」「ねばり強くたくましい子ども」

つなぐ・つながる

副校長 船橋 伸弘

11月14日～16日に展覧会が開催されました。3日間でのべ1372人もの方(ご来賓・地域の方を含む)にご来場いただき、ありがとうございました。

子供たちの作品には「つなぐ・つながる」をテーマにいろいろな仕掛けがありました。

小学校生活最後の展覧会となる5年生制作の「メッセージ・ポスト」は、学年ごとに設置されていて鑑賞された方からのメッセージを受け取ることができます。メッセージが入っているかなあと覗き込む子供がいて、可愛らしかったです。たくさん褒めていただきました。ご協力いただいたみなさま、ありがとうございました。

6年生の「展覧会ガイド」も好評でした。土曜授業プランの3時間を各クラスで分担して、来場されたお客様をガイドツアーでおもてなしをする学習です。自分たちで原稿を用意して、台詞を覚えて、お客様には笑顔で接する。なんと、放課後にもボランティアとして、多くの児童が参加してくれました。そして、たくさんのお客様に褒めてもらったようです。(名刺代わりにQRコードのカードで感想をいただいていた。)その様子を見ていた下級生が、「6年生になったら、絶対に私もガイドをやりたい!」と最上級生の姿をしっかりと胸に刻んでいました。

鑑賞の仕方も、初日は個人鑑賞日、二日目は異学年鑑賞日となっていました。作品を見て感じたことを表現する。自分のがんばったところ、工夫したところ、作品に込めた思いを相手に伝える。みんな真剣に鑑賞し、ワークシートにびっしりと書き綴っていました。

アンケートにもたくさんのお褒めの言葉をいただき、ありがとうございました。

つながりの話をもうひとつ。

学びのエリアの小学校4校では、4年生の「総合的な学習の時間」で共同学習をしています。単元名は「推しの木」です。

学区域から選んだ自分の「推しの木」を周りの人たちに伝えていく学習です。「推しの木」のおすすめポイントを考え、ニックネームをつけ、うちわに写真を貼ってデコレーションして紹介するなど、「推しの学習活動」が続きます。

11月25日(月)の5時間目は、4校の4年生の各学級をオンラインでつないでの発表会でした。初めての試みです。数年前なら通信会社に特別な協力を得てやっていたことが、今は当たり前前に教室にあるICT機器で可能です。各学級の代表1名がタブレットに向かって「推しの木」を発表する姿は、周りで応援している学級の子の声援もあり、熱さを感じました。最後にフォームで、興味の湧いた「推しの木」に全員が投票して終わりました。

今回の学習がなければ、学区域にこんなにたくさんのお客さんがあるなんて、考えもしなかったでしょう。友達の発表を聞いて、多種多様な木が地域にあることに気づくことができました。友達の推しの木を実際に見て確かめたくなった子もいるでしょう。

見逃しがちな1本の「推しの木」との出会いから、自然とつながり、地域とつながり、他校の子供たちとつながることができました。

やがて子供たちが成長して、この町を離れても、「推しの木」は何年でも帰りをずっと待っていてくれるかなあと想像が膨らみました。

12/19(木)～27(金)に板橋区役所の1階ギャラリーで「推しの木」の学習が展示されます。ぜひ、お出かけくださいませ。